

## 2024 年度事業計画

公益法人日本スカッシュ協会は、日本のスカッシュ競技の統括団体として下記の事業を各委員会において展開します。

- (1) スカッシュ競技の普及に関する事業
- (2) スカッシュ競技の競技力向上に関する事業
- (3) スカッシュ競技の競技大会に関する事業
- (4) その他本会の目的を達成する為に必要な振興事業

### ■公益社団法人日本スカッシュ協会主催大会（予定）

- 第 35 回全日本アンダー23 スカッシュ選手権大会  
日程:2024 年(令和 6 年)6 月 1 日・2 日  
会場:Greetings Squash Saitama
- 第 35 回ジャパンジュニアオープンスカッシュ選手権大会  
日程:2024 年(令和 6 年)8 月 10 日~13 日  
会場:ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE  
Squash Magic Academy Squash&Golf
- 第 29 回スカッシュマスターズカーニバル  
日程:2024 年(令和 6 年)10 月 12 日~14 日  
会場:ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE
- 文部科学大臣杯争奪第 53 回全日本スカッシュ選手権大会(冠は予定)  
<令和 6 年度スポーツ振興基金助成申請>  
日程:2024 年(令和 6 年)11 月 21 日~24 日  
会場:倉敷マスカットスタジアム
- 2024JSA ジュニアチャレンジカップ  
日程:2024 年(令和 6 年)12 月 21 日~22 日(仮日程)  
会場:Squash Magic Academy Squash&Golf
- JOC ジュニアオリンピックカップ第 29 回全日本ジュニアスカッシュ  
選手権大会 (冠は予定)  
日程:2025 年(令和 7 年)3 月 28~30 日  
会場:ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

## 普及渉外委員会

- ① World Squash Day/ World Squash Week の実施  
主催:(公社)日本スカッシュ協会  
共催:世界スカッシュ連盟  
日程:2024年(令和6年)10月開催予定  
World Squash Week 2023年10月実施予定  
内容:世界連盟と連携し世界中の選手・愛好家達と競技の魅力を共有、発信。
- ② 法人向け新協賛プラン「JSAパートナーシッププログラム」オフィシャルパートナープログラム、日本代表サポート、大会オフィシャルサポーターの策定に伴う協賛促進
- ③ 協会主催大会等のスポンサー契約及び協賛の増進  
全日本選手権を軸とした、全日本U23、ジュニアチャレンジカップ、マスターズカーニバル5大会への更なる協賛依頼活動を行う。
- ④ エアースカッシュキャラバンでの競技普及事業の促進  
2022年度の実施実績を軸に、全国各地に更なる普及活動を行う。
- ⑤ JSA ミッションである“To The Next Generation”へ向けて次世代選手達へ「正の遺産」を残すための基盤作りを本格的に始動する。

## 広報委員会

- ① 広報機関誌「SQUASH」の発行 (年2回予定)  
<2024年度日本スポーツ振興くじ助成事業>  
Vol. 95号 (夏の号) 2024年8月発行予定+電子ブック  
Vol. 96号 (冬の号) 2025年3月発行予定+電子ブック  
・2023年度より紙媒体は縮小し、電子ブック化に移行している
- ② 選手強化活動(イベント、トレーニング)の写真、YouTubeのコンテンツとして動配信
- ③ 協会ホームページの刷新に向けた準備  
現状、事務局から各方面に依頼をして掲載している状況が非効率のため運用方法からの見直し。コストを抑え且つ利便性の良い業者選定をしていく。

## 選手強化委員会

### 【2028年に向けたビジョン】

<ステージ1> 2026年愛知・名古屋アジア競技大会までの強化方針

- \*個人・チーム・ミックスダブルスの強化を並行して行っていく
- \*28LAがターゲットになりうる選手へのPSAツアー参加へのサポート体制の構築
- \*アジアジュニア・世界ジュニアでの一定の成果を狙ったチーム強化を進めていく
- \*ジュニア(スカウト選手)への強化アプローチの改善

<ステージ2> 2026年以降の28LAに向けた強化方針

- \*チームの強化をトーンダウンさせ、個人への強化活動をより重点的に行っていく
- \*2026愛知・名古屋アジア競技大会終了時のPSAランキングにて、28LA強化対象選手を選出していく、強化対象を明確に絞り込んだ活動を行っていく
- \*PSAツアー参戦へのサポート体制をさらに強化していく
- \*32年のオリンピックをターゲットにしたジュニア選手の育成・強化を進めていく

### ■海外派遣及び国内合宿(予定)

<海外派遣>

—シニア部門—

○アジアスカッシュ選手権団体戦 中国・大連 6/12~16

○世界選手権団体戦 男女同時開催 香港 12/9~15

—ジュニア部門—

○アジアジュニア個人戦 パキスタン・イスラマバード 6/25~29

○世界ジュニア個人戦・団体戦 米国・ヒューストン 個人 7/12~17・団体 7/18~23

○アジアジュニア団体戦 香港 2025年2月又は3月

○香港ジュニア・韓国ジュニア 香港&韓国 7月27日~8月8日

—ナショナル—

○コーチ招聘事業(助成金対象事業) 関東 時期検討中

<国内活動>

○サマーキャンプ 関東 8月

○ウインターキャンプ 関東 12月

○西日本ジュニアキャンプ 広島 10月

○ジュニアナショナル強化合宿 関東 2025年冬

○ナショナル強化合宿 関東 2025年冬

○フィジカルテスト 関東(3回/年)

○ナショナルトレーニング 関東 通年

○スカウト練習会 横浜 通年

## ☆選手強化委員会【コーチ部会】

＜2024 年度活動予定＞

5月 コーチングワークショップ開催

9 月 コーチングワークショップ開催

前期 レベルT 講習会開催

後期 レベル1講習会開催

※並行して HP や協会公式 YouTube 等を利用したコーチングに関する情報発信を行う

事務的活動として以下を行う予定でいます

\*レベル2コースのテキスト及びカリキュラム作成

\*レベルT 及びレベル1のアップデート

\*コーチングに関する情報(知識)の HP での公開(情報共有)

\*コーチング部会の人員見直し(新体制構築に向けて)

## 競技委員会

① 公認大会の認定及びランキングの作成

② 公認大会運営マニュアルの適正運用と見直し  
・預託金制度の廃止、他

③ 開催を予定している全日本選手権、その他ジュニア大会、公認大会主催者と協会にて情報収集や検討と協議を重ねる。

## レフリー委員会

＜2024 年度活動予定＞

○レフリー委員会ミーティング(オンライン)

※2 ヶ月に 1 回を最低のペースとして(必要に応じて追加で開催をしていく)

○2026 年愛知・名古屋アジア競技大会に向けてのレフリー育成活動(勉強会など)

○オンラインを利用したウェビナー形式の講習会・討論会の開催(2～3ヶ月に 1 回)

○リアルでのレフリーワークショップの開催(年 2 回目標)

○公認審判員認定のための講習会・試験の開催(支部申請で随時開催)

○学連向けの公認審判員認定のための講習会・試験の開催(年3回目標)

○アジア選手権個人戦へのレフリー派遣(渡航費協会負担)

○協会主催大会へのレフリー派遣(費用の一部カバー)

○事務的活動として以下を行う予定

\*協会 HP 内にて、ルール変更や情報共有のための情報発信

\*WSO の活用に向けての準備と議論の継続

\*1 級設置に向けての資料・カリキュラム作成

\*国内公認大会におけるレフリーアセスメント実施(タイミング見て随時実施)

## 規則公認委員会

常務理事会メンバーおよび専門委員の各委員長会が当委員会の兼務委員となる。各兼務委員は当委員会と協働して担当分野に関する規則の策定・改訂にあたる。

### 活動内容

- JOC ガバナンスコードでうたわれる規程の整備と啓発を継続着手  
特に、2028年ロサンゼルスオリンピック関連規則の見直しと策定  
・「運営規則」「肖像権およびパブリシティ権に関する規程」ほか
- 前年策定した規則を中心とした啓発活動  
・「処分手続規程」「倫理・コンプライアンス規程」ほか  
・JOC 法務あるいは専門家によるセミナー開催(年3回)
- そのほか既存規程の見直し・改訂

## 総務委員会

### ① 会員募集事業と管理

\*個人会員及び団体会費の募集と登録協力を依頼する。

併せてJSAパートナーシッププログラムを推進する。

個人会員登録及び協会公認・承認大会への参加は(株)アプロードの「スポーツエントリー」を利用し、会員情報を支部、大会へ提供。2023年度に引き続き団体会員の登録についても「スポーツエントリー」の利用を行う。

※2024年度の会員募集は、団体会員2/1～個人会員2/9～開始予定。

### ② JOC,JADA,等各加盟団体との連携。

### ③ 会議体運営

専門委員会委員長会議と常務理事会の連携、TEAMSの活用により、各委員会活動の情報共有をすすめていく。

### ④ 各種規程類の整備

規則公認委員会の主管のもと、未制定の各種規程類について整備を推進していく。

### ④ 財務担当活動

### ⑤ 公認会計士及び協会監事による会計監査を行い、2023年度財務諸表を理事会及び総会に諮り承認。

・2024年度の人事労務・経理入力および管理。

・2025年度の予算案及び事業計画案の策定及び理事会での承認

・各種助成金に関する調査、申請と報告業務。

### ⑥ 公益社団法人定期報告

・2023年度定期事業報告及び決算報告提出⇒2024年6月

・2024年度役員改選変更届⇒2024年7月

・2025年度定期事業計画及び予算案提出⇒2025年3月

## ☆総務委員会【国際部】

目標:1 アジアの国としての協会の地位と運営地盤の確立を目指す

- ① 世界スカッシュ連盟(WSF)、アジアスカッシュ連盟(ASF)をはじめとする国際連盟、関係各国協会、PSA(プロ協会)と情報収集と連携強化。
- ② 世界スカッシュ連盟及びアジアスカッシュ連盟、東アジアスカッシュ連盟主催の総会への出席。 ルール変更などの通達事項の国内競技者への報告。  
大会スケジュール情報を収集し各専門委員会との連携発信。
- ③ 2026年愛知・名古屋開催のアジア競技大会への準備を進める。
- ④ ワールドマスターズゲームズ 2027 関西に向けての組織委員会とからの情報収集と京都市実行委員会、JSA 関西支部との連携準備を進める。
- ⑤ 国際大会における代表選手派遣手続きの効率化と業務手法の再構築

## ☆総務委員会【アスリート部会】

- ① 強化指定選手からの意見収集及び提案

## ☆総務委員会【アンチ・ドーピング部会】

- ① 教育講習会を実施 日程 1月ジュニアナショナル強化合宿期間内にて実施  
3月ナショナル強化合宿 合宿期間内にて実施
- ② その他 講習会 オンラインにて実施予定

## 地区支部委員会

- ① 大会開催に関する課題・解決策の共有
- ② 各地区支部の活動状況と課題の共有・解決策の検討
- ③ 地区支部の意見集約と常務理事会への提言・提案を行う  
・常務理事会にて協議される事案に対する、地区支部の意見集約  
・地区支部意見を集約し常務理事会への提言・提案の具申
- ④ 地区支部における会員数拡大のための施策検討

## 学連委員会

定着化した学連との定例会議の内容精査を行い更なる関係強化をはかる  
関東圏の学生とのコミュニケーションを地方にまで拡大する

### ■2024年度の課題

- ・登録料の見直しと覚書の締結
- ・学生引継ぎ時の不備解消策
- ・大学OBの組織化